

臨床研究に関する情報

北海道大学病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター倫理委員会承認番号：B2022-105）および「生物学的なデータに基づく精神神経疾患の新たな診断分類と病態解明に関する探索的研究」（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター倫理委員会承認番号：B2023-080）で得られた情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 脳脊髄液バイマーカーと関連する中高年期にみられる抑うつ、不安、アパシーの変化の縦断的検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 橋本 直樹・北海道大学病院 精神科神経科

[既存情報の提供のみを行う機関]

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所精神疾患病態研究部 橋本 亮太

[研究の目的] 精神障害を有する中高年の方の臨床症状や脳脊髄液から得られるバイオマーカーが日本語版NPIスコア（抑うつ等の程度の評価）とどのように関係するかを検証することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター倫理委員会承認番号：B2022-105）および「生物学的なデータに基づく精神神経疾患の新たな診断分類と病態解明に関する探索的研究」（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター倫理委員会承認番号：B2023-080）いずれにも参加されたことがある方のうち、各研究参加時の年齢が55歳以上、95歳以下の方。

○利用する情報

上記2研究にて患者さんから収集した診断名、年齢、性別、脳脊髄液から得られるバイオマーカー、血液検査結果や画像検査結果、質問紙を用いた臨床症状の検査結果

○送付方法

上記の情報は、中高年期にみられる抑うつ、不安、アパシーの変化について調査を行うために、国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センターから北海道大学病院に電子的配信で送付します。具体的な手続き方法については当該先行研究のホームページ

2024年7月5日（第1.0版）
ージ <https://byoutai.ncnp.go.jp/database/> の「4. 利活用の手続きの流れ」にも記載
しております。

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用・提供開始日：2024年9月頃)～2030年3月31日
(登録締切日：2028年1月31日)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[国立精神・神経医療研究センターの連絡先・相談窓口]

東京都小平市小川東町 4-1-1

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所精神疾患病態研究部 担当医師 橋本 亮太

電話：042-341-2712（内線）2046

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院精神科神経科 担当医師 橋本 直樹

電話 011-706-5160 FAX 011-706-7627